

令和4年度 英語指導法改善研究計画書

宜野湾市立嘉数小学校

校長 名護 千賀子

1 研究主題名

書く活動を重視した表現力の育成
～6年間を通したフォニックス指導を通して～

2 研究主題設定の理由

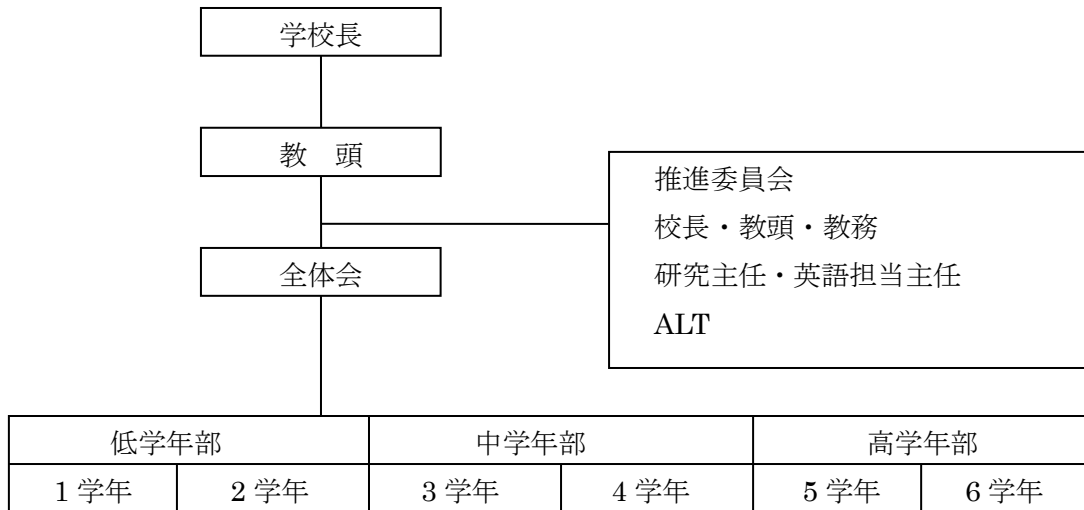
本年度から第5, 6学年が外国語として教科化され、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）（発表）」「書くこと」の4技能5領域を指導することとなった。また、外国語活動では、「聞くこと」「話すこと（やりとり）（発表）」の2技能3領域を指導する。中学1年生から降りてきた、「読むこと」「書くこと」の技能においては、今まで小学校高学年での指導の対象ではなかった。そのため、特に本校は今年度「書くこと」の指導を重点的に行っていききたい。そこで、『宜野湾市小学校外国語活動学習指導要領 第2 小学校での英語の目標及び内容等 エ 書くこと (イ) フォニックスを通して簡単な単語を識別し、正しく書くこと』を参照に、本校でもフォニックスの指導を通して、目標である外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーションの素地を養っていききたいと考える。また、第1学年から継続してフォニックスの指導をすることで、第5, 6学年の外国語にスムーズに繋げることができると思う。

フォニックスの指導を通して発音の仕方を知ることによって、単語のスペルをつづれるように指導していききたい。そして、書けるようになった単語を用いて、自分の体験や思いを適切に表現できる力を身につけていききたいため、本主題を設定した。

3 学年・領域

- ・外国語活動（1～4年）
- ・外国語（5～6年）

4 研究主任と組織



5 年間計画

1 学期 夏期研修

(レッスンの流れとクラスルームイングリッシュ・フォニックス指導)

2 学期 授業研究

3 学期 1 年のまとめ・来年度の研究について

6 校長所見

計画的・組織的に研究が進めるよう、常に評価を行いながら取り組んで欲しい。